

カリフォルニアの風

第4号 令和7年6月25日 発行
サンフランシスコ日本語補習校
校長 相澤 順

夏休み前まで無事に終わることができました。ありがとうございました。

21日の集中学習最終日で、夏休み前までの授業を無事に終了することができました。保護者の皆様には、様々な場面で子どもたちを支えていただきました。ありがとうございました。全部で授業日数は16日間ありました。はや全授業日数の1/3以上終えたことになります。私は4校を4～5回ずつ訪問して子どもたちの様子を見てきました。子どもたちにとって、運動会・球技大会・スポーツ大会は本当に楽しみにしていた行事であることがわかり、集中学習期間は続けて友だちと顔を合わせられる喜びや、普段は味わえない特別な授業を受けられる楽しさを感じていることがよくわかりました（集中学習・特別プログラムについては次号掲載予定）。

子どもたちは、通常の授業(活動)はもとより、休み時間・昼食時・昼休みの級友との語らい、児童会・生徒会行事、委員会活動、読書タイム、当番清掃活動、ボランティアの方々との関わりなどを通して様々な学び、成長の機会を得ています。そのような時間・経験を提供していることが、本補習校の良さ、特色であると実感しています。夏休み明けも子どもたち一人ひとりにとって充実した学び・成長の機会につなげられるように、教職員、事務局、派遣教員、理事会が協力して取り組んでまいります。保護者の皆様、お子さまやご家族の皆様とともに、安全や健康に十分にご留意をしていただきながら、有意義な夏休みをお過ごしください。

どちらも白熱！「球技大会 & スポーツ大会」 中高部2校で開催

サンフランシスコ校は14日に「球技大会」、サンノゼ校は20、21日に「スポーツ大会」を行いました。それぞれ天候にも恵まれ、生徒たちがクラスやチームメートと揃いのTシャツを着て、楽しく球技に親しんでいる姿がたくさん見られました。サンフランシスコ校はドッジボールとバレーボールの2種目、サンノゼ校はドッジボールと男子はバスケットボール、女子はバレーボールの2種目に取り組みました。中高生だけあって自分たち（体育行事委員や生徒会役員等）で、主体的に企画や準備・運営に当たっている姿、それに応えるかのように全校生徒が各試合に真剣に挑み、また、仲間に声援を送っている姿がとても素晴らしいと感じました。

サンフランシスコ校では昼休みの休息時間に、ダンス・ボーカル部の有志バンドの演奏が披露され、サンノゼ校では閉会式でTシャツデザインコンテストの結果発表があり、それぞれ工夫して自分たちの行事を盛り上げていました。両中高部の生徒の皆さん大変お疲れ様でした。

卒業生&保護者ボランティアの皆様、大会運営へのご協力、誠にありがとうございました。



【あと少し、「えー！」
：SF校男子ドッジボール】



【落ち着いてサーブ、「ソーレ！」
：SF校女子バレーボール】



【昼休み、有志バンドの演奏の様子
：SF校】



【狙いを定めて「バシッ！」
：SJ校女子ドッジボール】



【決勝戦、同点へのフリースローショット
：SJ校男子バスケットボール】



【生徒会企画。Tシャツデザインコンテスト
20日ファッションショーの様子：SJ校】

「球技大会閉会式挨拶」 中高部サンフランシスコ校 体育行事委員長

今こうして、成功という形で、最後の挨拶をさせていただいていることに、心から安心すると同時に、やり切ったという達成感を得ております。皆さん本当にお疲れ様さまでした。

中学一年生の皆さんにとっては、初めての球技大会でしたね。またそれと同時に、初めての課外でのグループ活動だったと思います。楽しめましたでしょうか。一方、他学年の皆さんは、去年以上に思い出に残る球技大会にできましたでしょうか。特に私たち高校2年生にとっては、最後の球技大会でした。悔いなく、やり切れましたか。皆さん一人ひとりが、何らかの形で、この球技大会を補習校での楽しい思い出のひとつとして心に刻むことができたのだとしたら、私はとても嬉しく思います。

今年の球技大会はバレーボールとドッジボールの2種目で低学年の男女と高学年の男女で合計8つの優勝チームが出ました。優勝チームの皆さん、おめでとうございます。出るからには優勝を目指して、全員がんばってきたと思いますが、球技大会を通じて勝つこと以上に得られたことがあると思います。例えば、この日に向けて、体育行事委員を決め、委員を中心に、チーム決めや、Tシャツの色決め、さらにTシャツに描くデザインをまとめることなどを、各クラスが一丸となって取り組んできたことと思います。そして球技大会に向けて準備を進める中で、皆さんは以前よりもクラスの中でお互いの関係が深まったのではないのでしょうか。このように球技大会を通じて得た絆を、これからもっと深めていきましょう。

球技大会は来年も再来年も行われると思いますが、毎回、前年度を超える素晴らしい大会にしていってほしいと思います。私たちが卒業した後、皆さんが今年以上に球技大会を楽しみ、成功させていくことを強く期待します。（一部抜粋）

「スポーツ大会を終えて」 中高部サンノゼ校 生徒会長

今年のスポーツ大会は、補習校の生徒が一丸となって取り組み、非常に活気ある二日間になりました。

同じ学年の他のチームの決勝戦を、学年の皆で応援しに行ったのも、スポーツ大会以外では味わえない一体感がありました。

昼休みのTシャツコンテストでは司会をしました。皆が参加しやすく、またわかりやすいイベントにするためにはどうしたら良いかを考え、成功に導くことができました。

ほかにも、高校一年生同士によるバスケットボール決勝の白熱した試合は、学校中の生徒の目を釘付けにしました。試合が長引いたことにより閉会時間が迫ってきていましたが、生徒が全員速やかに次の試合の準備にとりかかったおかげで、なんとか予定通りに大会を終了できました。それは皆が時間を守ろうという意識を補習校生活の中で持ち続けていたからだだと思います。

このように、一つになって協力し合う生徒がいるからこそこの生徒会活動だなと感じましたし、この一年さらにこの学校を良くしていけたらな、と強く思いました。

皆さん、二日間、大変お疲れさまでした。